



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7213 URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 品川 典弘 TEL 058-324-3121
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	13,502	35.9	109	—	131	—	△60	—
2018年3月期第3四半期	9,939	△7.2	△1,016	—	△1,008	—	△829	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 △52百万円 (—%) 2018年3月期第3四半期 △766百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	△5.39	—
2018年3月期第3四半期	△74.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	14,591	2,916	20.0	256.87
2018年3月期	12,465	2,985	24.0	267.56

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 2,916百万円 2018年3月期 2,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	8.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	27.0	1,000	—	1,000	—	460	—	41.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	12,798,200株	2018年3月期	12,798,200株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,444,759株	2018年3月期	1,638,239株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	11,299,951株	2018年3月期3Q	11,107,962株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外経済においては、米国の通商政策を背景とする貿易摩擦の激化や地政学リスクの再燃が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、2016年度よりスタートいたしました中期5か年計画「CA2020」の重点課題である「MaaSの実現に向けた新しい価値の創造」「育成分野への経営資源のスムーズな移行」「海外ビジネスの黒字化」「業務プロセス改善による生産性の向上」の4つの課題に向けた取り組みに注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、輸送機器事業、産業機器事業ともに好調に推移し、売上高は135億2百万円と、前年同期に比べ35億63百万円(35.9%)増加いたしました。損益面につきましても、売上伸長などにより、営業利益は1億9百万円と、前年同期比11億25百万円増加(前年同期は10億16百万円の営業損失)、経常利益は1億31百万円と、前年同期比11億39百万円増加(前年同期は10億8百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は60百万円と、前年同期比7億68百万円改善(前年同期は8億29百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)いたしました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(輸送機器事業)

当事業の売上高は94億79百万円と、前年同期比30億60百万円(47.7%)増加、営業利益は88百万円と、前年同期比10億59百万円増加(前年同期は9億70百万円の営業損失)いたしました。

市場別の売上高は、バス市場が76億5百万円と、前年同期比31億20百万円(69.6%)増加、鉄道市場が11億18百万円と、前年同期比55百万円(4.7%)減少、自動車市場が7億55百万円と、前年同期比4百万円(0.6%)減少いたしました。

バス市場につきましては、当連結会計年度から、首都圏バス用ICカードシステムの更新が本格的に始まったことに伴い、ICカードリーダーや運賃箱などの売上拡大が続いており、大幅な増収となりました。

鉄道市場につきましては、海外において、北米向け鉄道車両用灯具の納入が進んだものの、国内において、前年にあった鉄道用液晶表示器等の大口需要の反動により、減収となりました。

自動車市場につきましては、トラック用LED灯具の販売は堅調に推移したものの、蛍光灯具の販売が減少し、減収となりました。

(産業機器事業)

当事業の売上高は39億90百万円と、前年同期比5億2百万円(14.4%)増加、営業利益は54百万円と、前年同期比65百万円増加(前年同期は11百万円の営業損失)いたしました。

市場別の売上高は、電源ソリューション市場が15億57百万円と、前年同期比35百万円(2.4%)増加、エコ照明・高電圧ソリューション市場が6億11百万円と、前年同期比62百万円(11.4%)増加、EMS市場が18億21百万円と、前年同期比4億4百万円(28.5%)増加いたしました。

電源ソリューション市場につきましては、自家発電機自動運転装置などの販売は減少したものの、バッテリー式フォークリフト用充電器の販売が好調に推移し、増収となりました。

エコ照明・高電圧ソリューション市場につきましては、ガソリンスタンドやコンビニエンスストア等の店舗看板の掛け替えが進むなか、LED電源の販売が好調に推移し、増収となりました。

EMS市場につきましては、自動車の電子化が加速するなか、連結子会社レシップ電子株式会社で、自動車向けプリント基板実装の受託が大きく拡大し、増収となりました。

(その他)

当事業の売上高は32百万円、営業利益は4百万円となりました。事業の内容は、主としてレシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は145億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ、21億26百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品が9億21百万円増加、仕掛品が6億4百万円増加、受取手形及び売掛金が3億48百万円増加、有形固定資産が2億25百万円増加したこと等によるものであります。

負債は116億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億95百万円増加いたしました。主な要因は、短期借入金が11億9百万円増加、支払手形及び買掛金が5億6百万円増加、受注損失引当金が2億89百万円増加、電子記録債務が1億56百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は29億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金が1億53百万円減少、自己株式が75百万円減少したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の24.0%から20.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期予想につきましては、2018年5月11日の決算短信で発表しました業績予想からの変更はございません。

引き続き、輸送機器事業において、首都圏バス用ICカードシステムの更新に係る大幅な売上の拡大が見込まれること、また、産業機器事業においても、連結子会社レシップ電子株式会社で自動車向けプリント基板実装の受託が好調に推移する見通しであることから、通期の業績予想は、当初の予想から変更なく、売上高200億円、営業利益10億円、経常利益10億円、親会社に帰属する当期純利益4億60百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,538,655	1,446,612
受取手形及び売掛金	4,530,186	4,878,414
商品及び製品	1,020,316	1,941,780
仕掛品	541,078	1,145,458
原材料及び貯蔵品	1,292,762	1,388,150
その他	592,472	589,850
貸倒引当金	△33	△35
流動資産合計	9,515,439	11,390,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	860,028	838,809
その他(純額)	555,208	802,292
有形固定資産合計	1,415,237	1,641,102
無形固定資産	480,008	468,487
投資その他の資産		
投資有価証券	640,581	613,772
その他	472,118	535,136
貸倒引当金	△57,850	△56,950
投資その他の資産合計	1,054,849	1,091,958
固定資産合計	2,950,094	3,201,548
資産合計	12,465,534	14,591,780
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,580,226	2,086,367
電子記録債務	1,602,447	1,758,719
短期借入金	2,998,645	4,107,788
1年内返済予定の長期借入金	628,236	693,244
未払法人税等	108,455	100,393
賞与引当金	305,897	161,224
製品保証引当金	80,259	81,990
受注損失引当金	56,540	346,254
災害損失引当金	—	1,859
その他	965,850	1,039,975
流動負債合計	8,326,558	10,377,817
固定負債		
長期借入金	622,861	553,298
従業員株式付与引当金	112,905	131,896
役員報酬BIP信託引当金	64,642	62,474
退職給付に係る負債	27,690	33,540
その他	324,973	516,399
固定負債合計	1,153,073	1,297,608
負債合計	9,479,631	11,675,426

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,645	735,645
資本剰余金	747,580	747,580
利益剰余金	1,908,045	1,754,609
自己株式	△675,224	△599,330
株主資本合計	2,716,046	2,638,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,244	127,258
為替換算調整勘定	119,612	150,591
その他の包括利益累計額合計	269,857	277,849
純資産合計	2,985,903	2,916,354
負債純資産合計	12,465,534	14,591,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	9,939,116	13,502,905
売上原価	8,128,584	10,667,530
売上総利益	1,810,531	2,835,374
販売費及び一般管理費	2,826,629	2,725,554
営業利益又は営業損失(△)	△1,016,097	109,820
営業外収益		
受取利息	14	7
受取配当金	9,694	10,794
為替差益	8,679	4,535
受取補償金	—	16,446
助成金収入	4,200	—
その他	8,977	17,858
営業外収益合計	31,567	49,642
営業外費用		
支払利息	21,850	25,532
債権売却損	603	272
その他	1,241	2,288
営業外費用合計	23,695	28,093
経常利益又は経常損失(△)	△1,008,226	131,369
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34
受取和解金	—	14,472
特別利益合計	—	14,507
特別損失		
減損損失	9,126	—
災害による損失	—	40,000
固定資産廃棄損	162	282
特別損失合計	9,288	40,282
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,017,514	105,594
法人税、住民税及び事業税	12,537	206,419
法人税等調整額	△200,374	△39,955
法人税等合計	△187,837	166,463
四半期純損失(△)	△829,677	△60,868
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△829,677	△60,868

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純損失(△)	△829,677	△60,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58,082	△22,986
為替換算調整勘定	5,222	30,979
その他の包括利益合計	63,304	7,992
四半期包括利益	△766,372	△52,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△766,372	△52,876
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,418,858	3,487,430	9,906,288	32,827	9,939,116
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,418,858	3,487,430	9,906,288	32,827	9,939,116
セグメント利益又は損失(△)	△970,780	△11,067	△981,848	4,512	△977,336

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△981,848
「その他」の区分の利益	4,512
全社費用(注)	△38,761
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,016,097

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、9,126千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,479,845	3,990,117	13,469,962	32,942	13,502,905
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,479,845	3,990,117	13,469,962	32,942	13,502,905
セグメント利益	88,765	54,135	142,901	4,392	147,293

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	142,901
「その他」の区分の利益	4,392
全社費用(注)	△37,473
四半期連結損益計算書の営業利益	109,820

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。